

## WhatsConnected

### 自動レイヤ 2/3 ディスカバリ、マッピング、インベントリと IT資産のレポート

WhatsConnected は、ネットワーク・デバイス、サーバー、ワークステーション、使用ソフトウェア、VMware 仮想マシン、VLAN、ポート間接続状況などの IT インフラストラクチャ全体について、自動的にディスカバリ、マッピング、検索、インベントリ作成、文書化などを行います。WhatsConnected を使うと、IT インフラストラクチャのインベントリを簡単に文書化でき、トポロジ・マップもすぐに生成できます。ネットワーク上のすべてがどのように接続しているのかを視覚的に確認できます。

ネットワークに接続しているすべてを検出: デバイス、サーバー、VMware 仮想マシン、使用ソフトウェア、VLAN、ポート間接続状況などのリソースを自動的に、またはオンデマンドで

ネットワーク・トポロジと相互依存関係をマッピング、インベントリ作成、視覚化

正確で最新のネットワークおよびサーバーインベントリ情報とネットワーク図を用意して監査をサポートし、コンプライアンス遵守 (PCI、SOX、HIPAA、FISMAなど) を徹底

ソフトウェア、OS、BIOS、Windows サービス・インベントリ、保証ステータスなどの様々なシステム情報を収集して、IT資産を文書化して追跡

資産インベントリの文書化と保存: ルーター、スイッチ、無アクセス・ポイント、プリンタ、Windows、Unix、Linux、Macintosh、ファイアウォール、ハブ、IP電話など

ネットワークの拡張状況を追跡し文書化

ネットワーク・トポロジマップをMicrosoft® Visio™ またはPDF フォームで出力

Layer 2 Trace や IP/Mac Finder ツールを使って接続問題のトラブルシューティング

WhatsConnected Capture Configuration ツールを使ってネットワーク・デバイスの running-config と startup-config を取得して比較

新デバイスの追加、ポート間接続状態の変化、物理・仮想の関係変更などがあった場合、ユーザーの介入なしに自動検出し動的にマッピング

### ネットワークを正確に把握

ネットワーク問題に関してトラブルシューティングするための第一歩として、問題の発生がデバイスの接続性にあるのかどうかを見極めることは重要です。WhatsConnected のようなツールがなければ、接続関係、相互依存関係、デバイスやシステムの存在場所を手作業で文書化しなければなりません。物理的接続状態を調査して検証し、トポロジ情報を常に最新の状態に保つという面倒なプロセスは、莫大な時間と労力を要します。WhatsConnected でこのプロセスを自動化すれば、ワイヤが絡んだ制御室を這い回って接続を目で確かめたり、仮想ネットワークについて詳細をチェックしてインベントリ作成したりマッピングしたりといった煩わしさから開放されます。

### 業界でもトップクラスの包括的な検出とマッピングのソリューション

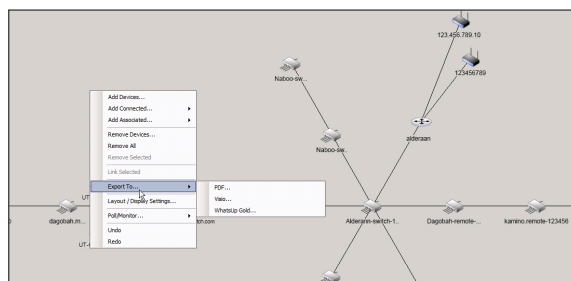
WhatsConnected は、他のよくある IP 検出ツールとは異なり、ネットワーク上のすべてのデバイスからの情報を組み合わせて詳細なトポロジ・マップを作成します。物理的接続状態、デバイスタイプ、資産/インベントリ、設定情報などの重要なネットワーク情報を入手でき、VMware の検出やクラス分けなども可能です。トップから末端までネットワークを正確に把握できるので、ネットワークを安全かつ高いパフォーマンスで稼働させることに集中することができます。Cisco/Linksys、Juniper、Foundry、HP Procurve、Nortel/Bay Networks、3COM、Netgear、Dell、VMware などが提供するネットワークの、ルーター、スイッチ、無線アクセス・ポイント、プリンタ、Windows、Unix、Linux、Macintosh、ファイアウォール、ハブ、IP 電話などについて、包括的なインベントリを作成することができます。また、WhatsConnected は、ネイティブの IPv6 デバイス、ネイティブの IPv4 デバイス、デュアルスタックの IPv4/IPv6 ネットワーク環境の検出と管理もフルにサポートします。

### 検出: ネットワークに何が接続されているかを把握

WhatsConnected は、ARP、SNMP、SSH、Virtual Infrastructure Management、IP アドレッシング、ICMP、LLDP など多数のレイヤ 2/3 ディスカバリ技術を、ベンダー固有のメカニズムと組み合わせて、ネットワークに接続しているすべてを検出し、ネットワーク・デバイスとそのポート間接続状況を正確に視覚化します。全体または一部の検出を自動的に行うようスケジュールすることも、オンデマンドで実行することもできます。デバイスが追加されたり削除されたりした場合、またはネットワーク・トポロジに変更があったりした場合に警告を受けられるよう設定することも可能です。

### マッピング: 思い通りの視点でネットワークを視覚化

WhatsConnected は、IP や VLAN 特有の情報を含めて、物理・論理・仮想の接続状況を可視化する統合されたレイヤ 2/3 のトポロジマップを自動生成します。ネットワーク上で変更があった場合、動的にマップを更新します。マップはカスタマイズや操作が簡単で、ネットワークを思いのままに視覚化できます。マウスをクリックするだけで、マップを Microsoft® Visio™ または PDF フォーマットで出力することもできます。



## 検索: デバイスの場所をつきとめ、速やかに接続状況を検証

WhatsConnected を使うとデバイスがどのように接続されているかがすぐにわかります。接続デバイスの詳細が可視化されているので、何が何に接続されているのかを的確に確認できます。さらに、Layer 2 Trace や IP/MAC Finder などの組み込みツールを使って、ネットワーク上のどんなデバイスでも迅速にその存在場所をつきとめ、接続状況を検証することができます。

## 文書化: 最新かつ完全なITインフラストラクチャのインベントリ

WhatsConnected が提供する包括的なネットワークのインベントリと設定情報は、ITIL などの社内処理に必要なレポート作成や文書化、PCI DSS、SOX、FISMA、HIPAA などの規制の遵守に効力を発揮します。これらの情報は CSV や Excel フォーマットで簡単に出力できるので、ネットワークにどんなリソースがあるのか、どこにあるのか、どのように接続されているのかについて、いつでも正確にわかります。ネットワークが拡張したり、オフィスが移転したり、データセンターのリソースが統合されたりしても、しっかり把握できます。

## 管理: 資産およびインベントリ

ネットワーク・デバイス、ネットワーク上のシステム全体の様々なインベントリ情報、設定情報を収集、フィルタリング、出力できます。

### ネットワーク・デバイスの資産情報

- ▶ 製造元/モデル、シリアル番号、ハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアのバージョン、シャーシ/モジュール・インベントリ、電源/ファン

### 設定情報

- ▶ インタフェース、ブリッジポート、スイッチポート、VLAN

### システム・インベントリ

- ▶ すべての利用可能なシステム・コンポーネントの詳細 (CPU、RAM、ディスクなど)、OS のバージョンとパッチ情報、インストールされたソフトウェア、サポートする Web サイトとの統合に基づいて自動更新される保証情報のサポート (Dell と HP)

無料試用版をお試しください: <https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsconnected>